



HIROSHIMA  
あけなみ

Vol 34

URL : <http://www.h-yeg.jp/>





広島商工会議所  
青年部会報 2004.6



---

## CONTENTS

---

-  平成16年度通常会員総会 .....2
-  広島商工会議所青年部記念講演会・懇親会 .....2
-  5月例会盛大に開催される .....3
-  広島YEG「日米交流セミナー」に参画 .....4

## 平成16年度通常会員総会

日時 平成16年4月23日(金) 18:00～18:30  
 場所 広島厚生年金会館「銀河の間」  
 出席者人数 170人(うち委任状101人)  
 内容 ①平成15年度事業報告並びに収支決算について(監査報告)  
 ②平成16年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について  
 ③規約の改正について

※右記議案について諮った結果、異議なく承認された。  
 ※皆様のご協力により、委任状101名を含む出席者107名で平成16年度の通常会員総会を滞りなく行うことが出来ました。

### 高田会長あいさつ

皆さんこんにちは。去年11月の臨時総会でご指名いただきました。今日まで正副会長のスタッフと役員の皆さんと本年度の青年部の運営に関して私なりに一生懸命、準備して参りました。

今年も原点復帰という四文字の熟語が一人歩き気味になっておりますが、私で8代目、要するに満7歳の青年部でございます。成立当初、熱いグループ、連帯意識、そういったものをもう一度、是非、取り戻したいと思っております。

青年部もビジネスフェスティバルやブロック大会などを通じ、実行力が蓄積されてきたように思いますが、根本的な、原点のネットワークといった未知の出会いというものが、なんとなく希薄になってきたかなと。お願いして、重ねてお願いしないと、物事が前に進まなくなっているのではないかと気がしています。

もちろんそれは、開催する会合があまり魅力がないといったことにも原因があるかもしれないし、皆さんがそういったネットワークの楽しさをひよっとしたらお忘れになっているのかもしれないという風に思っています。今年はいさよなら、思いっきりという風に思っています。



しかしですが、皆さんに参加していただけない、講師型の従来の例会ではなく、参加していただくような場面をたくさん作って例会を中心に、委員会活動に負けない全体の運営をしていきたいと思います。

## 広島商工会議所青年部記念講演・懇親会

日時 平成16年4月23日(金) 18:35～21:00  
 場所 広島厚生年金会館「銀河の間」  
 出席者人数 73人  
 内容 テーマ「バレーボールから学んだこと」  
 ～選手として、指導者として～

### 講師 元バレーボール日本代表 三屋 裕子氏

※講演会においても、一躍時の人となった三屋裕子先生のとて前向きで歯切れの良いご講演をさせていただきました大成功であったと思います。

4月23日 厚生年金会館にて全日本代表 元オリンピックバレー選手の三屋 裕子さんの講演がありました。

講演のテーマは「バレーボールから学んだこと」です。

丁度、この講演の数日前に三屋さんは年商500億円「シャルレ」の社長就任の発表があった時期でもありました。その就任までの経緯をバレーボール人生と重ね



合わせながら人間味あふれる言葉でお話しになりました。

就任にあたり今までの自分の分野と違う仕事、それが出来るのだろうか、自信が無いから引き受けるのは辞退しようと思う自分に、何もやらずに引き下がることは自分のモットーに反することを痛感し、就任を決めたのだと。

出来ない事とやらない事は違うのだ。学生時代のバレーを活性化させるためコーチしている時は生徒に激を飛ばし、負けるなど言っておきながら自分が逃げているではないか……。

人には強く言えても自分には弱くなっている、人に言うように自分にも言い掛けて就任を決めた。逃げるのはよくない。

バレーボールで鍛えられた精神が自分の人間形成の軸になっている。

バレーをする中で、精神力の強さ、辛いこと・壁に当たったときに逃げてはいけない事、人を思いやる優しさを身に着けることができた喜びを感じている。

楽を選ばない勇気を持ってこれからも歩いて行きたいと……。

この講演でとても気持ちに張りがある言葉を沢山頂きました。

商工会議所の皆様もそれぞれ職種が違い色々な思いの中で生活されるシーンで三屋さんの勇気ある・又元気の出る沢山の言葉に励まされていると思います。



# 5月例会盛大に開催される

広島YEG公認記者：とっとこ八ヤ太郎



去る5月21日、商工会議所101会議室にて、70名の会員参加のもと5月例会を盛大に開催いたしました。

本年度の例会は会員企業の紹介と研修的な要素に重点を置き、会員の資質の向上として『プレゼンテーション技術の習得』を目指しています。

今回は会員に範を示すべく、正副役員から精鋭の5名の方々がプレゼンテーションに挑戦しました。

例会は軽快なトークでお馴染みの早田例会委員長の司会のもと、高田会長の挨拶から始まりました。

まず1人目は、久保田直前会長です。トップバッターということもあり、緊張した面持ちで語り始めました。普段は口数の少ない久保田直前会長ですが、今回は熱く語り過ぎて時間が少々足りなかつたようでした。

2人目は熊本監事です。誠実な語り口は聴講者の好感度No.1でした。

3人目は三好副会長です。今回はパワーポイントを使ったプレゼンテーションでしたが、一番苦勞されていました。でも、それが効を奏し、シンプルで判り易い内容となつて、高い評価につながりました。

4人目は高田会長です。「渋い」の一言です。

お経を聴かせるように心に残るプレゼンテーションでした。

最後に古田監事で、綿密な計画・企画、十分な時間をかけて今回の例会に望みました。情熱に満ちた語りで最後に盛大な拍手が会場を埋めました。

プレゼンターの皆様、本当にお疲れさまでした。感動をありがとうございます！

## 5月例会を終えて

例会委員長：早田良二

本年、最初の例会ということもあり、会員の皆様に納得のいく内容になるのか大変心配しておりましたが、どうか合格点は取れたかなという感じでした。

これも、みなさまのおかげです。次回ももっとバージョンアップして望みますので、ご参加のほどよろしく願います。

最後に、真剣に頑張っていたいただいたプレゼンターの皆様、的確なアドバイスをしていたいた児玉紀子OB、田岡美江会員、例会を陰で支えてくださった会員資質向上委員会のメンバーの方々に心から感謝いたします。感謝。





# 広島YEG「日米交流セミナー」に参画

広島商工会議所の姉妹提携先であるホノルル日本人商工会議所会頭一行来広（総勢35名）に伴い、相互交流事業の一環として日米交流セミナーが開催され、広島YEGからは高田会長、熊本監事が講師を務め、セミナーには、多数の青年部メンバーが参加した。

名称	若手経営者・後継者交流懇談会
日時	平成16年5月20日（木）13：00～14：45
場所	広島プリンスホテル 2階 瀬戸内
出席者	93名（ハワイ側：29名、広島側：64名）※うち青年部会員37名
司会	広島YEG副会長 大森富士子
講師	① ハワイ側 ・キム・フジウチ女史 （ハワイ大学ファミリー・ビジネス・センター ディレクター） ・ステイシー・ハヤシ女史（パイナガール社長） ・ポール・コササ氏（ABCストア社長） ② 広島側 ・(有)世羅別館 社長 高田秀穂（広島YEG 会長） ・(株)熊本仏壇 取締役 熊本裕子（広島YEG 監事）



ハワイ側からは、キム・フジウチ女史は事業承継プログラムの紹介、ステイシー・ハヤシ女史はインターネット上のバーチャルショップの立ち上げ・展開について講演。ハワイで有名なABCストアの3代目ポール・コササ氏は企業経営についてビデオによるスピーチを行った。一方、広島側からは、高田秀穂会長は、親から受け継いだ家業の旅館を新しい感覚を入れながら、いかに経営していくかの苦労話を英語を交えたトークで講演。また熊本裕子監事からは先祖代々からの家業（仏壇）をどう現代の若い世代にも受け入れてもらうか、自身の体験に基づいた講演内容であった。広島YEGからも37名が参加し、セミナーも盛況裡に幕を閉じた。

